

部局名	生涯学習部	所属名	公民館	所属長名	伊藤 英久	電 話	485-4811
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3892		事務事業名称	公民館維持管理事業					短縮コード	経常	3892	臨時	3893
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	公民館費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		社会教育法，公民館の設置及び運営に関する基準，八千代市立公民館の設置及び管理に関する条例，八千代市立公民館管理規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
○事業概要 ①施設・設備の提供（利用者の学習ニーズに添った施設の提供） ②施設・設備の修繕，清掃等（利用者の安全性・利便性の確保） ○事業を開始したきっかけ 市民の学習ニーズに対応するため社会教育の専門施設が必要となったことから，昭和5 2年に大和田公民館が設置された。続いて1年ごとに阿蘇・高津・勝田台・八千代台・村上・睦の順で設置が進み，その後，平成元年に八千代台東南，平成1 6年に緑が丘公民館が設置され，現在の市内の公民館数は9館となっている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
○施設が老朽化している。 ○高齢者の増加に対応した施設の整備が求められている。					大項目（節）	02	第2節生涯学習						
					中 項 目	01	1. 生涯学習						
					小 項 目	03	(3)市民の学びの環境整備						
					細 項 目	02	②生涯学習関係施設の整備・充実						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○公民館施設							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ○施設，設備の整備（修繕，清掃等）							
	※平成24年度に計画していること： ○施設，設備の整備（修繕，清掃等）							
意図 （何を狙っているのか）	○安全性・利便性を確保し，利用者が安心して使用できる施設の整備。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	公民館施設	館	9	9	9	9	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	施設利用日数（開館日数）	日	338	346	346	345	
	指標 2	修繕の回数（9館分）	回	18	11	7	7	
	指標 3	修繕料及び工事費	千円	884	1,173	1,444	1,168	
成果指標	指標 1	開館率（開館日数/365日）	%	92.6	94.54	94.54	94.52	
	指標 2	施設利用者数	人	219,006	225,000	208,864	220,000	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3892	事務事業名称	公民館維持管理事業				所属名	公民館
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			○施設の老朽化が進む中，利用者の安全性・利便性を確保するため，当分の間現状で事業を継続する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			施設の老朽化が進む中，利用者の安全性・利便性を確保するため，今後も施設の改修・修繕が必要となってくることが予想されるため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
○公民館の老朽化への対応と，施設整備の充実。									

所属長コメント	公民館は築３０年以上経過した公民館もあり，老朽化に加え，高齢者や身体障害者等が円滑に利用できるバリアフリーに対応していない施設が多い。また狭隘化もあり改修の困難な状況となっている。 公民館の維持管理については，日常的な整備を心がけ，修繕については利用者の安全・安心を第一に，緊急性の高いものから計画的に行っていきたい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									